

コーパスを使った方言研究

第40回NINJALチュートリアル



講師

木部 暢子

国立国語研究所 教授
(言語変異研究領域)

鹿児島大学法文学部学部長を経て、2010年から現職。

専門は日本方言学・音韻論・音声学。主に日本語のバリエーションについて研究している。主な著書に『西南部九州二型アクセントの研究』(2000)、『そうだったんだ!日本語 じゃって方言なおもしろか』(2013)、『方言学入門』(共編著、2013)、『明解方言学辞典』(編著、2019)など。

講座概要

近年、大量の言語データの整備と言語コーパスの構築が世界各国で進み、それに基づく言語研究が新たな展開を見せている。方言研究の分野でも大規模なデータの構築とそれに基づく分析により、新たな展開が期待される。そのような研究の基盤となるものとして、国立国語研究所では2019年5月に『日本語諸方言コーパス (COJADS)』モニター版を公開した。現在、50地点、約34時間分の音声データとテキストデータを公開し、オンラインでの検索を提供している。本講座では、コーパスを活用することにより方言研究がどのように展開していくのか、また、コーパスを使う際の注意点等について、COJADSを使いながら講義する。講座の最後には、受講生によるCOJADSを使ったデータの検索、分析実習を行う。

開催概要

開催日時 令和3(2021)年3月7日(日)
9:30~16:40

会場 Web開催(Zoomを使用)

定員 20名(予定)
※応募者が定員を超えた場合には、大学院生の方を優先とします。

受講料 無料

受講対象 大学院レベルを対象としています。

申込方法

国立国語研究所ウェブサイト
からお申し込みください。



国立国語研究所チュートリアル

検索

申込締切 令和3(2021)年2月26日(金)
※定員に達し次第、募集を締切ることがあります。

《主催・問い合わせ先》

国立国語研究所 管理部 研究推進課

E-mail : ninjal-events@ninjal.ac.jp

TEL : 042-540-4353